

9/17 山方地域 笹崎さんが県内で3人目の快挙
小学生でそば打ちの検定初段合格

山方地域在住の小学6年生 笹崎大雅さんが、NPO 法人そばネットジャパンのそば打ち技能検定「そばリスト技能検定」初段に合格しました。

9月の検定に向け、普段は1週間に1度通っているそば教室に、夏休みはできる限り参加し、試験1週間前には、学童から帰った後も、1日3回自宅で練習していたという笹崎さん。「とてもうれしかった。達成感があった」と合格したときの感想を全力の笑顔で話してくれました。



▲笹崎大雅さん

10/27 青少年相談員として20年にわたり尽力
山方地域 藤来さんが知事ほう賞受賞

茨城県庁で開催された「茨城県青少年相談員研修大会」にて、常陸大宮市青少年相談員会で青少年相談員としてご活躍されている藤来好子さんが表彰されました。

藤来さんは、20年にわたり、児童生徒の登下校時の見守りや不審者対応、街頭相談などに積極的に取り組み、現在は、山方支部長を務められています。このような青少年の健全育成にご尽力された功績が認められ、今回の受賞に至りました。



▲藤来好子さん

11/26 住宅地の冬の夜を彩る
小場地区でイルミネーションを実施

小場地区の住民有志で構成される「OBA生き生き会」が、夜を華やかに演出する「ロマンチック小場イルミネーション」を実施しました。小場十文字などに色とりどりの電飾を設置しました。

イルミネーション初日である11月26日には点灯式が開催されました。約100人が集まり、サンタクロースの格好をしたスタッフから振る舞われた甘酒やけんちんそばを食べながらイルミネーションを楽しみました。



▲昨年より電飾数が増えたイルミネーションは、1月28日まで小場地区を明るく照らしました。

12/10 スピーチやダンスを通して交流を深める
国際交流フェスティバル

「第14回国際交流フェスティバル～語ろう！歌おう！輪になろう！～」(主催 常陸大宮市国際交流協会)が開催されました。

海外出身者による日本語スピーチコンテストや楽器演奏、ダンスなど、各国の特色を生かしたステージ発表を行いました。

約200人が参加し、様々な国の文化に触れ、海外出身者と市民の親睦を深めるイベントになりました。



▲日本語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞したサムンドラ・カトリさん

11/25 野外音楽堂でオカリナの音色を楽しむ
宗次郎森の音楽会 開催

緒川地域にあるオカリナの森野外音楽堂で、常陸大宮大使であるオカリナ奏者の宗次郎さんのコンサート「2023秋 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」を開催しました。「宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」は、毎年、春と秋に開催しており、例年好評を博しているコンサートです。

コンサートは、紅葉の森に響く美しい音色と小鳥のさえずりのハーモニーに包まれ、野外音楽堂ならではのおだやかな時間になりました。



▲宗次郎さんの美しい演奏に森全体が包まれました。

11/25 青少年や青少年健全育成尽力者を表彰
青少年をたたえる市民のつどい

次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に「第19回青少年をたたえる市民のつどい」が、常陸大宮市文化センター●ロゼホールで開催されました。

式典では、市内小中学校から応募のあった青少年の主張作文200点の中から優秀賞6名、会長奨励賞9名の表彰と優秀賞受賞者による作文発表が行われました。また、善行青少年として4名が、青少年健全育成者として1名が表彰されました。



▲受賞者の皆さん

10/15~ 4年ぶりの開催に市内の芸術が集う
12/10 常陸大宮市文化祭

4年ぶりに令和5年度常陸大宮市文化祭を開催しました。

中央公民館、文化センター、各地域センターを会場に、作品展示、発表会、各種大会、茶会を開催しました。文化協会会員や、市内の子供たちなども参加し、日頃の練習の成果を披露しました。市内全体でのべ4,252人が来場して、文化芸術に触れ、盛況のうちに終わることができました。



▲11月17日から19日に開催した大宮地域美術展



▲11月18日に開催した芸能発表会で民舞を披露する様子



▲11月19日に開催した音楽祭で合唱を披露する様子

12/13 日本全国で初の協定締結
有機農業 栽培管理に関する協定

みどりの食料システム法に基づき、特定区域に設定した鷹巣地区の水田で営農している農業者同士が「有機農業を促進するための栽培管理に関する協定」を締結し、市長が認可しました。

この協定は、有機農業と慣行農業の共存を目的としており、制度発足後、全国で初めての協定となりました。今後も、地域ぐるみで有機農業の団地化を推進していきます。



▲(右) 小野瀬和夫鷹巣区長

12/14 宝くじ売上による助成を公園整備に活用
神奉地公園に新たな遊具を設置

山方地域にある神奉地公園に新たな遊具を設置しました。今回、設置した遊具は「ビッグフォレスト」という名前の遊具で、ハンディキャップの有無にかかわらず、みんなで一緒に遊べるインクルーシブ遊具になっています。

なお、この遊具には、宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を活用し、設置しました。



▲大小2つのすべり台やうんていなどが備わった大型遊具を設置しました。

12/13 緒川小学校の特色を生かした教育
・21 「イノシシの生態に関する授業」「詩のボクシング大会」を実施

12月13日、緒川小学校3年生が、市内でイノシシ駆除を行う増山洋治さんを講師に迎え、イノシシの生態についての講義と、駆除時に猟犬に装着しているGPS機器を使ったデモンストレーションを行いました。この授業は、4年前、イノシシが校庭に掘った穴に児童たちが疑問をもったことがきっかけで始まりました。授業では、児童たちが事前に調べた中で出た疑問に、増山さんが写真や標本を見せながら答え、児童たちはイノシシについて理解を深めました。

12月21日には、「詩のボクシング大会」が開催されました。「詩のボクシング」とは、赤コーナー、青コーナーに分かれ、交代に詩の朗読を行い、詩の内容や表現方法で勝敗をつけるものです。緒川小学校では、詩の学習に力を入れており、月1回の校内コンクールや、新聞の詩のコーナーへの寄稿を行っています。発表者は、大会までに何度も練習を重ね、内容だけでなく、声の大きさや高さなど、読み方で、観客を自作の詩の世界へと引き込んでいました。



▲イノシシの標本に興味津々の児童たち



▲詩のボクシング大会では、選手や司会、レフェリーを務めた児童たちが会場を盛り上げました。

12/15 小瀬高校が2年連続県大会優勝
花いけバトル優勝表敬訪問

花いけバトル茨城県大会で、小瀬高等学校3年生の高野壮磨さん、2年生の木村柊汰さんペアが見事優勝に輝きました。市長への優勝報告で、高野さんは「県大会は手ごたえがあったが、優勝するとは思っていなかった」、木村さんは「初めての大会でよくわからなかったが、個性を出した作品が作れた」と大会の感想を述べました。

なお、花いけバトル全国大会は、2月4日に香川県で開催される予定です。



▲(左から2番目から) 小瀬高等学校3年生の高野壮磨さん、2年生の木村柊汰さん

12/14 15 オリンピックの価値や精神を学ぶ
JOC オリンピック教室を開催

大宮中学校2年生を対象に、JOCオリンピック教室が開催されました。オリンピックの寺村美穂さん(水泳/競泳)と高尾千穂さん(スキー/フリースタイル)が講師となり、実際にオリンピックに出場した貴重な経験を交えた「オリンピックバリュー(オリンピックの価値や精神)」などの話に生徒は耳を傾けていました。生徒からは「オリンピック教室で学んだことをこれからの部活動、勉強などに生かしていきたい」などの感想がありました。



▲水泳でオリンピックに出場した寺村美穂さんからの話を真剣に聞く大宮中学校2年生

1/8 団員行進・消防車のパレードも実施
常陸大宮市消防団 出初式

毎年1月の2週目に行われる常陸大宮市消防団の出初式が常陸大宮市文化センター●ロゼホール前の広場で開催されました。式には消防職員や消防団員約650名が参加しました。

今回は初の取り組みとして、消防団員の行進や消防車41台が連なるパレードを行い、子供たちなどの観客は、規律正しく勇ましい姿に、盛り上がりを見せていました。



▲ロゼホール前の市道で行ったパレードに多くの観客が集まりました。